

1 タブレット閉そく式のしくみ

閉そく区間の両端駅に、タブレット(通票)と呼ばれるトークンを入れた箱に電信機・電鈴を組合せた一対のタブレット閉そく機を備えており、両駅が共同で閉そく機を操作することにより、いずれか一方から当該区間用のタブレットを1個だけ取り出せる。列車は、タブレットを所持して走行し、到着駅でタブレットを閉そく機に収めることにより、再びいずれか一方から当該区間用のタブレットを取出せるようになる。駅間に列車がなければ、どちらからも列車の出発が可能である。



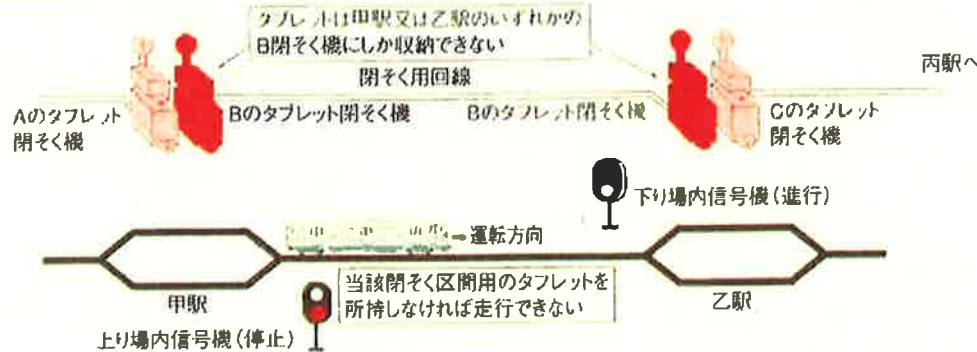
■タブレット閉そく機



■交換駅でキャリアに収めたタブレットを運転士に渡すところ

タブレット閉そく式のしくみ(例)

両駅で相互に操作し、
甲駅ではタブレットを取り出して
乙駅では列車到着後に
タブレットを収納



■タブレットの種類

左から順に第1種、第2種、第3種、第4種。隣接する閉そく区間同士では、同種のタブレットは使用できない。